

「臨床婦人科産科」第 67 巻 総目次

2013 年 (第 1 号～第 12 号)

数字は通巻頁数, () は号数

今月の臨床

●性感染症と母子感染—最新の診断と管理 (1 + 2)

〈性感染症〉

性感染症の最近の動向

小野寺昭一…………… 6

性感染症の予防

岩室 紳也……………13

思春期と性感染症

中尾 裕之・山岸 拓也・今井 博久……………20

性教育の現状

島崎 継雄……………26

《最新の診断と治療》

ヒトパピローマウイルス

笹川 寿之……………32

クラミジア

野口 昌良……………42

淋菌感染症

菅沼牧知子・三橋 直樹……………47

トリコモナス症・性器カンジダ症

三嶋 廣繁・山岸 由佳……………52

〈母子感染〉

母子感染の最近の動向—妊婦感染症スクリーニングと 先天性感染の一次アンケート全国調査の結果

山田 秀人・平久 進也・森岡 一郎・蝦名 康彦……………59

妊婦健診で感染症検査を行う意義と根拠

小島 真奈・濱田 洋実……………64

妊婦の感染症と早産

米田 哲・米澤 理可・斎藤 滋……………71

《最新の管理法》

梅毒

谷口 晴記・田中 浩彦・鳥谷部邦明・千田 時弘・井澤 美穂・伊藤 譲子・朝倉 徹夫……………76

風疹

楠元 和美・金子 政時・鮫島 浩……………84

トキソプラズマ

佐藤 孝洋・菅原 準一・八重樫伸生……………93

サイトメガロウイルス

山本 亮・光田 信明……………99

麻疹

永井 立平・林 和俊……………104

水痘

永井 立平・林 和俊……………111

ヒトパルボウイルス B19

松田 秀雄……………118

リステリア

竹内 沢子・安達 知子・中林 正雄……………123

肝炎ウイルス

永石 匡司・山本 樹生……………128

単純ヘルペス

土屋 裕子・川名 尚……………135

B 群溶連菌

三谷 穰・松田 義雄……………144

HTLV-1

三浦 清徳・築山 尚史・増崎 英明……………152

HIV/AIDS

稲葉 憲之・大島 教子・稲葉未知世・伊藤 志峯・岡崎 隆行・西川 正能・渡辺 博・深澤 一雄・吉野 直人・喜多 恒和・外川 正生・明城 光三・和田 裕一・塚原 優己……………163

●急速遂娩の基本—トラブルを避けるために (3)

〈急速遂娩の判断基準〉

母体の要因

川名有紀子・安達 知子・中林 正雄……………208

胎児の要因

松村 英祥・馬場 一憲……………214

胎児心拍数図波形の異常

岩間 憲之・菅原 準一……………220

〈急速遂娩の実際〉

《帝王切開》

帝王切開の基本術式

平松 祐司……………231

早産児の帝王切開

村越 毅……………237

前置胎盤・癒着胎盤の帝王切開

松原 茂樹……………244

筋腫合併の帝王切開				臨終立会い時の対応・診断書の書き方	
倉澤健太郎・笠井 絢子・高橋 恒男	253			関 博之	012
超緊急（グレードA）帝王切開術				【Ⅱ 婦人科編】	
下平 和久	260			〈1 「救急/時間外」の婦人科疾患〉	
帝王切開の合併症と対応				機能性出血	
船越 徹	266			岡垣 竜吾	020
《鉗子分娩と吸引分娩》				卵巢出血	
鉗子・吸引分娩の適応と要約				鹿島 大靖・塩沢 丹里	023
鈴木 正明	273			卵管妊娠破裂/頸管妊娠出血	
鉗子遂娩術の基本手技				増山 寿・平松 祐司	028
坂井 昌人	278			卵巢腫瘍茎捻転	
吸引分娩の基本手技				富松 拓治・下屋浩一郎	032
高田さくら・石岡 伸一・齋藤 豪	285			卵巢チョコレート嚢胞破裂	
鉗子・吸引分娩の合併症と対応				富松 拓治・下屋浩一郎	035
山田 学	291			卵巢過剰刺激症候群	
●女性骨盤底外科手術Up to Date—増加する患者への対応を学ぶ(4)				綾部 琢哉	038
女性骨盤底の局所解剖学—女性骨盤臓器脱の機序を理解するために				子宮頸癌大量出血	
秋田 恵一・加藤 友康・加川隆三郎	336			横山 良仁	042
子宮脱評価法の歴史的変遷と今日の評価法				婦人科がん化学療法中の有害事象	
古谷 健一・永田 一郎	342			横山 良仁	045
骨盤底外科手術の修練法—サブスペシャリティの育成				腔異物/性器外傷・出血	
古山 将康・延山 裕之・橋 大介	352			今西由紀夫	049
〈手術手技のポイントと術後合併症への対応〉				性暴力被害	
腔式子宮全摘術と腔壁形成術				川名有紀子・安達 知子	053
西 丈則	359			緊急避妊	
腔閉鎖術				北村 邦夫	058
永田 一郎	366			〈2 婦人科術後合併症〉	
TVM手術				術後出血	
竹村 昌彦	376			田中 智人・大道 正英	064
中部尿道スリング手術(TVT, TOT)				呼吸・循環障害	
加藤久美子・鈴木 省治・鈴木 弘一・服部 良平	385			吉田 昭三・小林 浩	069
腹腔鏡下骨盤底再建手術				深部静脈血栓症/肺塞栓症	
市川 雅男・明楽 重夫	394			小林 隆夫	073
ダヴィンチによる骨盤底再建手術の展望				イレウス	
西 洋孝・向田 一憲・高木 偉博・井坂 恵一	402			平嶋 泰之	078
●産婦人科当直医マニュアル—慌てないための虎の巻(4増)				腎・泌尿器合併症	
【Ⅰ 当直に備えた心構え】				巽 啓司	082
患者を守り、トラブルを避けるための当直医の心得				穿孔性腹膜炎/腹腔内感染	
産婦人科当直の特性				中江 華子・梁 善光	086
藤井 知行	006			【Ⅲ 産科編】	
分娩当直の心得				〈1 緊急対応を要する分娩時・分娩後疾患〉	
杉本 充弘	009			胎児機能不全	
				山口 明子・野村 真司・田中 幹夫・藤森 敬也	092
				遷延分娩	
				笹原 淳・光田 信明	096

肩甲難産				めまい	
笹原 淳・光田 信明……………	100			三宅 康史……………	203
臍帯下垂・脱出				失神/意識障害	
正岡 直樹・千葉 純子……………	105			後藤 磨礪・林 寛之……………	208
羊水塞栓症				《呼吸器疾患》	
金山 尚裕……………	108			風邪（ウイルス性上気道感染）/上気道の細菌感染症	
子宮破裂				（溶連菌性咽頭炎，細菌性副鼻腔炎）	
島内 昌仁・川端 正清……………	112			岸田 直樹……………	213
巨大腔・会陰血腫				インフルエンザ/細菌性肺炎	
小泉 佳男・川端 正清……………	116			大野 博司……………	218
子宮内反症				喘息発作	
江口 勝雄……………	119			谷口 正実……………	222
大量出血/ショック				《循環器疾患》	
依藤 崇志・牧野真太郎・竹田 省……………	122			高血圧/高血圧性脳症	
産科 DIC				大野 泰正……………	229
山本 祐華・竹田 省……………	134			脳出血/脳梗塞	
〈2 周産期救急の初期対応〉				岩渕 聡・原科 純一・木村 仁・林 盛	
妊娠初期の出血				人・斎藤 紀彦……………	234
大場 智洋・大槻 克文・岡井 崇……………	138			急性循環不全（不整脈/心筋梗塞）	
切迫早産/早産				鈴木 富雄……………	240
太田 創・大槻 克文・岡井 崇……………	142			《消化器疾患》	
前置胎盤での警告出血				食中毒	
関口 敦子・中井 章人……………	146			三河 貴裕・細川 直登……………	245
常位胎盤早期剥離				《腎・泌尿器疾患》	
林 昌子・中井 章人……………	150			急性腎炎	
HELLP 症候群/急性妊娠脂肪肝				鈴木 洋通……………	250
水上 尚典・荒木 直人……………	156			尿路結石	
周産期心筋症				松崎 章二……………	253
村林 奈緒・池田 智明……………	160			《内分泌・自己免疫疾患》	
劇症型 A 群溶連菌感染症				糖尿病性ケトアシドーシス	
堤 誠司・倉智 博久……………	162			杉山 隆……………	258
〈3 妊産褥婦の合併疾患〉				甲状腺クリーゼ	
《症状からみた合併疾患の鑑別》				吉原 愛・伊藤 公一……………	262
頭痛				SLE の増悪	
奥寺 敬・橋本真由美……………	166			村島 温子……………	267
呼吸困難				《血液疾患》	
西口 翔・徳田 安春……………	169			貧血	
動悸/息切れ				山中 克郎・寺澤 佳洋……………	270
小山 泰明・箕輪 良行……………	173			血小板減少症	
胸痛				富田 直人……………	275
今村 浩……………	182			《その他》	
嘔気/嘔吐				てんかん	
吉川 和秀……………	188			山崎 悦子……………	278
腹痛/下痢				脱水症/熱中症	
萩野 隆光……………	193			中西 功……………	280
吐血/下血				交通外傷	
岩田 充永……………	200			後藤摩耶子・松岡 哲也……………	285

【IV 緊急時の基本手技】

心肺蘇生法

河野 裕美・今 明秀…………… 290

気管挿管/気管切開

吉岡 隆文…………… 296

●子宮体がん診療アップデート (5)

〈診断のトピックス〉

子宮体がん発症のリスク因子

竹原 功・太田 剛・倉智 博久…………… 440

子宮体がんの新しいステージング

園田豪之介・牛嶋 公生・嘉村 敏治…………… 448

子宮体がんのスクリーニング

前濱 俊之…………… 452

子宮体がんの画像診断—筋層浸潤・頸部浸潤の判定はどこまで可能か

三村 理恵・加藤 扶美・白土 博樹…………… 458

〈治療のトピックス〉

子宮摘出の方法とリンパ節郭清の範囲

小田切哲二・金内 優典・櫻木 範明…………… 466

子宮体がんの術後再発リスク評価と術後療法

進 伸幸・山上 亘・野村 弘行・阪埜 浩司・青木 大輔…………… 474

子宮体がんの特殊組織型に対する治療戦略

江本 精…………… 485

子宮体がんに対する腹腔鏡下手術

寺井 義人・田中 智人・大道 正英…………… 491

子宮体がんの妊孕性温存療法

三橋 暁・生水真紀夫…………… 498

進行・再発子宮体がんの治療

上田 豊・榎本 隆之・木村 正…………… 505

●産婦人科超音波診断—新しい技法とその臨床応用 (6)

〈超音波 3 次元情報の応用〉

3 次元画像構築の原理

馬場 一憲…………… 540

産科診断への応用

夫 律子…………… 547

婦人科診断への応用

関谷 隆夫・藤井多久磨…………… 556

血流 3 次元情報の応用

田中 宏和・野口 純子・秦 利之…………… 568

〈胎児心臓検査の新技術〉

画像表示の新手法

松岡 隆・仲村 将光・長谷川潤一・市塚 清健・関沢 明彦…………… 573

エコートラッキングの臨床応用

中田 雅彦・笠原 英司・村下 賢…………… 581

胎盤の血流評価

内田 雄三…………… 586

術中超音波検査と超音波内視鏡検査

増崎 英明…………… 593

経陰腔超音波

小林 浩一・坂巻 健…………… 602

超音波 Elastography の産科応用

小松 篤史…………… 609

●思春期診療グレードアップ (7)

〈思春期の知っておきたい健康リスク〉

早発思春期

田島 敏広…………… 656

思春期女性のやせ、摂食障害

堀川 玲子…………… 663

思春期女性の心身症

石崎 優子…………… 671

〈思春期の月経異常〉

原発性無月経、性分化異常

渡辺 尚…………… 677

思春期女性の月経随伴症状

白土なほ子・長塚 正晃・岡井 崇…………… 685

思春期女性の不正性器出血

山中 政人・久保田俊郎…………… 695

〈思春期の性〉

思春期女性の性被害・緊急避妊

甲村 弘子…………… 700

思春期女性への性教育

川名有紀子・安達 知子…………… 706

思春期の性同一性障害

中塚 幹也…………… 712

●婦人科がんの予防戦略と早期診断 (8)

〈子宮頸がん〉

子宮頸部細胞診のベセスダシステムのメリット

平井 康夫…………… 764

HPV DNA 検査・細胞診併用検診による子宮頸がん検診—高精度・効率化・若年受診率向上により浸潤がん激減

岩成 治・森山 政司・小村 明弘…………… 771

HPV ワクチン

今野 良…………… 781

新たな HPV ワクチンの開発

川名 敬…………… 790

〈子宮体がん〉

リスク因子を考慮した子宮体がん予防

水口 剛雄・吉川 裕之…………… 798

月経異常患者の子宮体がん予防

宮本 強・塩沢 丹里…………… 805

子宮体がん検診の意義	
吉田 祐司・新倉 仁・八重樫伸生	813
家族性子宮体がん遺伝子異常	
梅根紀代子・阪埜 浩司・木須 伊織・増田 健太・進 伸幸・青木 大輔	818
〈卵巣がん〉	
リスク因子を考慮した卵巣がん予防	
落合 和徳	825
子宮内膜症患者の卵巣がん予防	
小林 浩	832
卵巣がん検診の可能性	
柴田 清住・吉川 史隆	838
家族性卵巣がん遺伝子異常	
青木 陽一	843
●脳性麻痺—発症防止への挑戦 (9)	
企画にあたって	
岡井 崇	880
〈脳性麻痺の原因と動向〉	
諸外国の状況	
中井 章人・石川 源	883
わが国の現状	
石渡 勇	891
〈脳性麻痺発症率低減への戦略〉	
妊娠・分娩管理における基本戦略	
土井宏太郎・鮫島 浩・池ノ上 克	899
常位胎盤早期剥離への対策	
松田 義雄	906
臍帯異常への対策	
関 博之	912
子宮内感染と脳性麻痺	
高木耕一郎	917
分娩遷延・微弱陣痛への対応	
青木 茂・高橋 恒男	922
胎児心拍数波形に基づく介入の判断	
松岡 隆・長谷川潤一・市塚 清健・関沢 明彦	927
吸引分娩手技における適応と要約の順守	
荒木 直人・赤石 理奈・水上 尚典	933
母体搬送のタイミングと対応	
前田津紀夫	937
新生児仮死への対応	
楠田 聡	943
脳低温療法の実際	
茨 聡	951
新しい戦略の展望	
加藤 稲子	960

●ART成功の秘訣—どうすれば妊娠率は向上するか (10)

卵巣刺激法	
田畑 知沙・藤原 敏博	996
採卵法	
京野 廣一・土信田雅一・竹内 巧	1004
精液採取と精子凍結保存	
兼子 智	1011
精子の調整と媒精法	
荒木 康久・荒木 泰行	1017
顕微授精法	
内山 一男・上野 智・加藤 恵一	1022
胚の評価法	
中山 貴弘	1030
胚凍結法	
沖津 摂	1038
胚移植法	
塩谷 雅英・苔口 昭次・松本由紀子	1044
黄体期補充・妊娠初期管理法	
井田 守・福田 愛作	1052

●進行婦人科がんの集学的治療 (11)

〈子宮頸がん〉	
進行子宮頸がんの同時化学放射線療法—日本人におけるエビデンス	
黒田 勇気・根本 建二	1092
進行子宮頸がんの根治手術—術前化学療法後の広汎子宮全摘	
宮本 強・塩沢 丹里	1099
再発子宮頸がんの治療戦略	
馬淵 誠士・高橋 良子・増田 公美・木村 正	1105
子宮頸部腺癌の治療戦略—術前・術後化学療法の意義	
島田 宗昭・紀川 純三	1111
〈子宮体がん〉	
進行子宮体がんの治療戦略	
山本阿紀子・岡本三四郎・竹島 信宏	1116
再発子宮体がんの治療戦略	
長谷川清志・塚田 和彦・多田 伸	1123
子宮がん肉腫・子宮肉腫の治療戦略	
高野 忠夫・徳永 英樹・八重樫伸生	1139
〈卵巣がん〉	
進行卵巣がんの治療戦略—初回手術・術前化学療法どちらを選ぶか	
遠藤 大介・渡利 英道・櫻木 範明	1146

再発卵巣がんの治療戦略—secondary debulking surgery か 2nd line chemotherapy か	
恩田 貴志	1154
明細胞腺癌・粘液性腺癌の治療戦略	
高取恵里子・杉山 徹	1159
婦人科がんの血栓症対策—周術期の管理	
田畑 務	1169
●多胎妊娠管理の最新スタンダード—ガイドラインを踏まえて (12)	
不妊治療と多胎	
藤本 晃久	1200
〈多胎の診断〉	
多胎と出生前診断	
市塚 清健・四元 淳子・関沢 昭彦	1206
多胎の超音波検査	
宮越 敬・福武麻里絵・吉村 泰典	1212
〈多胎妊娠の妊娠・分娩管理〉	
MD 双胎の管理	
村越 毅	1219
MM 双胎の管理	
兵藤 博信	1230
双胎の分娩管理	
大口 昭英	1236
三胎の妊娠・分娩管理	
亀井 良政	1242
〈双胎の合併症〉	
双胎と早産	
梅原 永能・小川 浩平・上出 泰山・左合 治彦	1247
双胎と胎児発育不全	
工藤 美樹	1254
双胎一児死亡の管理	
永松 健・藤井 知行	1259

原 著

20 歳台女子学生の子宮頸がん検診に影響する要因の検討	
佐藤 公子・末宗 伸枝	187 (1+2)
子宮頸部円錐切除術後の妊娠・分娩の検討	
谷本 博利・岡本 啓・高尾 佑子・本田 裕・寺本 三枝・寺本 秀樹	193 (1+2)
卵巣嚢腫, 子宮筋腫, 子宮腺筋症の経過観察中に卵巣癌が発見された 5 症例の臨床的検討	
朝野 晃・島 崇・渋谷 祐介・早坂 篤・明城 光三・和田 裕一	422 (4)

ジェノゲスト術前投与における子宮内膜ポリープの病理学的変化について	
中山 毅・宮野奈緒美・石橋 武蔵・田中 一範・原 理恵子・岡本 明子・俵 史子・北山 康彦	633 (6)
子宮性不妊女性に対する妊娠性再建を目指した子宮移植手術	
木須 伊織・三原 誠・阪埜 浩司・原 尚子・荒木 淳・飯田 拓也・菅沼 信彦・青木 大輔	745 (7)

臨床経験

抗リン脂質抗体症候群におけるダナパロイドナトリウムの有用性について	
前田 和也・藤田 太輔・藤田 富雄・加藤 壮介・宮本 良子・鈴木 裕介・神吉 一良・湯口 裕子・伊藤 理恵・荘園ヘキ子・山下 能毅・亀谷 英輝・大道 正英	313 (3)
Nuchal translucency の正しい評価方法と問題点	
佐野 匠・藤田 太輔・加藤 壮介・宮本 良子・鈴木 裕介・神吉 一良・湯口 裕子・荘園ヘキ子・山下 能毅・亀谷 英輝・大道 正英	317 (3)
子宮鏡手術に用いる灌流液の正確な計測を可能とする新型ドレープ	
秋元 義弘	1187 (11)

症 例

傍腫瘍性神経症候群の一種である多発筋炎を合併した再発子宮頸癌の 1 例	
西野理一郎・辻野 太郎・杉本 誠・森川 哲・武内 享介・佐藤 悠・門口 倫子・酒井 太門・由宇 芳才	525 (5)
後腹膜に再発を認めた子宮頸部ブドウ状肉腫の 1 例	
高林あゆみ・中嶋 達也・榎木 晋・神崎 秀陽・土屋 邦彦	639 (6)
卵巣原発の大細胞神経内分泌癌の 1 例	
秦 さおり・竹内 康人・小菊 愛・伊藤 崇博・奥杉ひとみ・近田 恵里・佐原裕美子・川北 かおり・片山 和明・石原 美佐・橋本 公夫	866 (8)
サーバリックス® により生じた脂肪萎縮症の 1 例	
三田村康貴・占部 和敬・古江 増隆	982 (9)
16 歳の卵管境界悪性腫瘍の 1 例	
岸 秀昭・北 香・中田 俊之・林 博章	1077 (10)

交通外傷により虫垂断裂をきたした初妊婦

桑原 良奈・角田 玲子・井田 耕一・小口
治・仲井 育子・成田麻衣子・大久保浩毅
..... 1183 (11)

子宮体部明細胞腺癌の6症例

吉田 光紗・北見 和久・伴野 千尋・山口 恭
平・廣渡 美紀・寺西 佳枝・矢野 有貴・小林
浩治・高橋 典子・岡田真由美・安藤 寿夫・河
井 通泰・前多 松喜..... 1283 (12)

胞状奇胎娩出後約3年経過し、血痰、乳房腫瘤を認
め、絨毛癌と診断された1例

長治 誠・安藤 まり・久保光太郎・早田
裕・清水 健治・山下 裕・池田 秀明・小寺
正人..... 1287 (12)

FOCUS

卵子幹細胞研究の最近のトピック

高井 泰.....172 (1+2)

子宮頸がんのHPV検査・細胞診併用検診—高精度で
効率化可能(受診間隔延長・高費用対効果・ワク
チン時代対応可)

岩成 治・林 由梨・今野 良
..... 300 (3)

卵巣がんの再発における腫瘍免疫の関与と免疫療法

万代 昌紀・安彦 郁・濱西 潤三・吉岡 弓
子・松村 謙臣・小西 郁生..... 408 (4)

産科医療補償制度の概要と実績

岡井 崇..... 511 (5)

骨盤臓器脱のマネジメント—最近の潮流

中田 真木..... 616 (6)

子宮体癌発生の分子機構—特に癌幹細胞の観点から

中村 充宏・京 哲..... 718 (7)

胎児心拍数モニタリング判読についての新しい考え
方—30秒ルールは絶対的なものなのか?

藤森 敬也・安田 俊・経塚 標
..... 852 (8)

若年女性がん患者に対する妊孕性温存治療のトピック
—卵巣組織凍結・移植

杉下 陽堂・鈴木 直..... 966 (9)

専門医制度の施設規準について

吉川 史隆..... 1060 (10)

わが国の母体死亡の現状—母体安全の提言より

池田 智明・大里 和広..... 1264 (12)

教訓的症例から学ぶ

産婦人科診療のピットフォール

水腎症を伴いFDG-PETで子宮体癌と結腸癌の重複癌
の再発が疑われた1例

小寺 宏平・森崎慎太郎・入江 準二
.....177 (1+2)

帝王切開時にアナフィラキシーショックを生じた1症
例

別宮 史朗..... 414 (4)

不正性器出血・子宮頸部の硬さから子宮頸癌を疑った
が、細胞診・腫瘍マーカー・画像所見が陰性であ
った症例

米澤 優・洪川 昇平..... 516 (5)

塩酸リトドリンによる横紋筋融解症の発症時に、心不
全・呼吸不全・腰背部痛が併発し、多くの専門診
療科へコンサルトするに至った症例

服部 政博..... 622 (6)

FDG-PET/CTで治療方針が大きく振り回された症例

中山 昌樹..... 735 (7)

ジェノゲスト長期投与により著明に改善した月経困難
症・両側卵管留水腫の1例

出口 月雄・小森 春美・森川 陽子
..... 858 (8)

妊娠29週に突然の心窩部痛を認めた1例

河村 諭・干場 勉..... 972 (9)

子宮筋腫に惑わされた腔子宮内膜症の1症例

山本 和重・山田 鉄也..... 1066 (10)

術中に大腸癌由来の転移性卵巣癌と診断された巨大卵
巣腫瘍の1症例

山本 敏也..... 1178 (11)

子宮頸部最小偏倚型粘液性腺癌の可能性を排除できな
いため、診断目的で子宮全摘出術を行った症例

福松 之敦..... 1270 (12)

Obstetric News (武久 徹)

子宮頸管長計測スクリーニング—早産歴なし、単胎妊
娠に行くか?(米国産婦人科学会2012年)

..... 310 (3)

子宮頸管短縮妊婦に対する天然型プロゲステロン腔製
剤療法の有用性—Romeroらのメタ分析

..... 418 (4)

ドロスピレノン含有経口避妊薬と静脈血栓塞栓症のリ
スク

..... 520 (5)

潜在性甲状腺機能低下症—妊娠中の管理（米国産婦人科学会 2012 年）	627 (6)
レボノルゲストレル放出子宮内避妊器具（Mirena®）	726 (7)
Skylla™～新しい避妊器具	862 (8)
妊娠中の嘔気と嘔吐の管理（1）	978 (9)
妊娠中の嘔気と嘔吐の管理（2）	1071 (10)
妊娠中の嘔気と嘔吐の管理（3）—治療薬復活（Diclegis®）	1174 (11)
分娩進行停止再考	1277 (12)

Estrogen Series

北米更年期学会のホルモン療法に関する立場の説明（position statement）	184 (1+2)
北米更年期学会のホルモン療法に関する立場の説明（position statement）（2）	308 (3)
ピル使用者の家族歴によるスクリーニング	421 (4)
卵巣摘出後の老年期の性機能	524 (5)
緊急避妊法に関する米国小児科学会のポリシー表明	630 (6)

子宮摘出に伴う両側卵巣切除 2 題	724 (7)
エストロゲン単剤使用者にみる乳癌発生率の低下—プラセボとの比較	857 (8)
米国産婦人科学会の公式見解—処方箋なしでもピルの入手を可能にすべきか？	980 (9)
更年期後のエストロゲン療法における投与経路と静脈性血栓塞栓症リスクとの関連	1074 (10)
エストロゲンと心疾患	1176 (11)
卵巣癌予防としての経口避妊薬の効果	1281 (12)

Current Clinic

パルトグラムに替わるコンピュータープログラム（Natal-graph®）による分娩管理手法について 狩谷 功	729 (7)
---	---------

書 評

青野敏博，苛原 稔（編）産婦人科外来処方マニュアル（第 4 版） 水沼 英樹	631 (6)
吉川史隆，倉智博久，平松祐司（編）産科婦人科疾患最新の治療 2013-2015 嘉村 敏	1059 (10)